作家さんに会いに行ってきたよ！第４回「キナッコ」

「マリンワールド」と「春日市遺跡マップ」が魚と古墳の人「キナッコ」さんを生んだ原点でした。平成元年「マリンワールド海の中道」開業。博多湾目の前に広がる大プールでのイルカのショー、最新鋭の映像解説機器を備えた魚類展示、きらきらした世界にわくわくが止まりませんでした。同じころ、国体のポスターを描いて記念品でもらった「春日市遺跡マップ」。自分の住んでいる町が実は、弥生時代の遺跡や出土品が多く「弥生銀座」とまで言われるところだったと知ります。またしてもわくわく、魚と古墳好き少女が爆誕します。

そうして小さなころからずっとあたため続けていた「好き」が、ふとしたきっかけで作家への道につながります。将来の夢だった「建築パース画家」が、デジタル化によって職業そのものがなくなるという現実。それでも高校、大学と建築デザインを選び、優しくも厳しい恩師たちのもとで「描く力」を身に着けました。そうしていつの間にか大人になり、仕事と育児に追われる中で出会った「プラバン」の本。私ならもっとうまく描けるのでは…?そんな時にパパさんからのオーダー「アロワナのブローチ作ってよ」。アロワナは「キナッコ」さんにとって特別な魚。好きを込めて作ったアロワナのブローチはツイッターで身内バズりを起こします。そしてこのアロワナブローチがきっかけでお店への委託も始まります。ハンドメイド作家「キナッコ」スタートです。

そうしてハコイチへ初出展。２０１８年9月のことです。作家がブースに居ない…とハコイチの自由さに驚くものの、自分と作品が受け入れられたと感じたそう。「ハコイチはホーム。出ないときつくなる。足りなくなる。みんなに会いたい。いやしとして必要…。」

作家を始めたときに決めた最初の目標「デパート出店・博物館出店・水族館出店」を、仕事を抱えつつおよそ３年で達成。作家を本業とすべく知名度アップのための遠征ターンに入った「キナッコ」さんですが「ハコイチには出たい…」と、東京や大阪への出店の合間を縫ってハコイチにも出てくれるって。嬉しいなあ。

「キナッコ」さんの武器は、水彩色鉛筆とコピックスケッチとプラバンです。それと今までの人生で鍛えてきた画力。輝きを与えているのは、中学の美術部の先生が言った「光の色を見なさい」というアドバイス。光の色が表現されているから「キナッコ」さんの描く生き物たちは、生き生きと動き出しそうな魅力があるんですね。

好きと好きが合致するのがみんなの幸せ。好きな人に届けたいと今後東京や大阪で開催の大きなイベントにも出店予定。

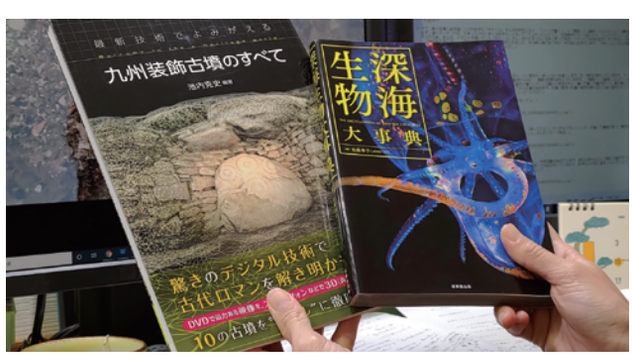
２０２２年の「キナッコ」さんも楽しみですね！

ハコイチ新聞
令和４年１月１５日発行
発行人：合同会社ハコイチ

肉汁じゅわーランチ

ハコイチ会場を出て左にちょっと行くといい香りが漂ってきます。そこが伊万里牛が美味しく食べられる「はこざきランプ」です。ランチタイムだけの嬉しいメニュー「伊万里牛プレミアムハンバーグ」はなんと6種類から選べます。デミグラスソースのハンバーグステーキ、オムバーグ、白のオムバーグ、煮込みハンバーグ、チーズハンバーグ、そして和風ハンバーグ。どれも魅力的で悩むんです…。ハンバーグのサイズとご飯の量も選べるので、自分好みのランチが食べられますね。サラダとスープもついてます。今日は肉！という日にぜひ。ステーキセットもあります。土日祝は肉Cafeランチ！ディナーは土曜の夜のみ、おうち派の方にはテイクアウトもあります！

はこざきランプ
福岡県福岡市東区箱崎2-12-15
営業時間：11:30～14:30



今月のおすすめ図書

深海はまだまだ未知の世界…。世にも奇妙な（しかし生きるために必要な）形をしている深海の生き物たちがたくさんの写真とともに紹介されています。眺めているだけでオッケーです「深海生物大辞典」。

東京書籍が出版元、つまりこれは教科書です「九州装飾古墳のすべて」興味本位で買うにはいろんな意味でお高い本ですが、古代のロマンに最新技術で触れられます。